

業 務 仕 様 書

1. 請負件名

国立歴史民俗博物館 web サイトリニューアル業務

2. 本業務の概要

現在、当館で運用する web サイトでは、掲載情報の分節化や多様化を反映して、求める情報へのスムーズなアクセスが困難になりつつある。研究事業や展示事業など各種掲載情報も、現行 web サイト構築時とは状況が大きく異なっている。また、web サイトは当館の「顔」であり、より効果的な情報発信を実現するためには、同時代のニーズにあうスタイルへ対応してゆく必要がある。

これらを踏まえ、多様な利用者のニーズに応え、多様なメディア・コンテンツにも対応しうる web サイトを新規に構築する。以下の要目を骨子として、web サイトの新規構築事業を実施する。

- ・ 情報発信力の向上：研究や展示をはじめ多岐にわたる当館の活動を、効率よく効果的に、かつ利用者にも親しみやすい形態で情報発信することを可能にする。
- ・ ユーザーの利便性向上：多様な関心をもつ利用者・閲覧者に対して、それぞれの目的に合わせた情報の提供を可能にする。よりストレスの少ないアクセスを実現する。
- ・ 同時代的ニーズへの対応：多様化するメディア形態に対応した web サイトを構築し、各種コンテンツの提供を可能にする。構築する web サイトでは、ヴィジュアル性を重視する。
- ・ 日常運用の機能向上：web サイトの情報更新など、日常の運用業務でも利便性を高める。操作をより簡素化し、機能に拡張性をもたせて、より柔軟な運用を可能にする。

3. 業務期間

令和 5 年 1 月 4 日（水）～令和 6 年 3 月 29 日（金）

4. 仕様詳細

1) リニューアルの範囲

本業務では、現行 web サイトの課題をふまえ、新規にサイトマップ（サイト構成）を構築し、各種ページデザインを刷新する。閲覧・検索機能やコンテンツ（コンテンツ項目）を新設し、web サイトの一新を図る。操作マニュアルの作成など、運用体制の確立と実施まで含めて、web サイト新規構築の業務とする。

- ・ 作成対象サイト（カッコ内は現行サイト URL）
日本語版（URL:<https://www.rekihaku.ac.jp>）

英語版 (URL: <https://www.rekihaku.ac.jp/english>)
中国語版 (URL: <https://www.rekihaku.ac.jp/chinese>)
韓国語版 (URL: <https://www.rekihaku.ac.jp/korean>)

請負者は、現行サイトの構成やコンテンツを分析・検討し、当館教職員との協議および指示をふまえて、web サイトの新規構築に取り組む。

本仕様書は、当館 web サイトリニューアルにあたり、必要最低限の事項を記載したものであり、請負者は専門的な立場から本業務の契約費用範囲内で効果的な提案をすること。

2) web サイト構成及びページデザインの作成

- ・PC 版 web サイトとスマートフォン及びタブレット版 web サイトを構築する。
- ・サイト構成、ページデザイン、工程管理を記したサイト仕様書を作成する。

<web サイトの作成>

- ・新規にサイト構成を作成すること。カテゴリーを細分化する構成ではなく、利用者が目的に沿ってアクセスしやすい、連携・横断の機能を備えること。
- ・情報掲示板的な単なる情報提供のメディアに終始しないこと。近年の web サイトのトレンドをふまえ、業務趣旨に添ったスタイルを構築すること。

<ページデザイン>

- ・web サイトを構成するすべてのページを作成対象とする。
- ・web ページ全体のデザインを一新すること。より多くの利用者の感性に響くデザインを求める。
- ・作成したデザインごとに、コンテンツ作成・編集等を行うためのテンプレート設計を行うこと。
- ・ページ共通部分は、デザイン修正が全体に反映させることができること。
- ・画像には alt 属性を付与すること。ただし、ページ上のイメージ的なもので画像等読み上げソフトに認識させる必要のないものは除く。
- ・ページデザイン等は、原則として外部 CSS を使用すること。ただし、メンテナンスを簡素にできる場合は、内部 CSS、テーブルタグ等も使用可能とする。

3) ドキュメント作成

- ①デザインスタイルガイドの作成 (CSS 定義一覧、フォント指定、カラー指定等を含む)
- ② web ページ更新手順書の作成
- ③ 仕様ドキュメントを含む業務報告書の作成

4) CMS について

- ・CMS は新規に構築するか、運用に実績のあるものを利用すること。
- ・CMS の利用に有償のライセンスが必要な場合、業務期間中利用可能なライセンスを本調達に含むこと。

- ・CMS が稼働するサーバは、受注者がクラウド上に構築すること。なお、クラウド事業者及びサーバ環境の選定については当館担当者と協議すること。また、業務期間中のサーバ利用料及び必要な場合の OS ライセンス料は本調達に含むこと。
- ・CMS 上でコンテンツの作成及び静的なファイルの生成を行い、当該ファイルを当館に既設の web サーバに転送し、公開する運用を可能とすること。なお、本番環境サーバへの転送の他、事前確認用のサーバへの転送も可能であること。また、検索フォームや問合せフォーム等の動的なページについては、CMS で作成する web ページと整合の取れたデザインとなるようにすること。
- ・CMS は以下の機能をすべて備えること。

①選定要件

- ・CMS 上で構築したサイトのプレビューが行えること。
- ・コンテンツを含む CMS 全体のバックアップ・リストア及びサーバ移行が容易に可能であること。バックアップはスケジュールによる自動実行が可能であること。なお、バックアップの頻度・保持期間については当館担当者と協議して設定するものとする。
- ・CMS にログインする際に、多要素認証を利用できること。
- ・CMS にアクセス可能な IP アドレスを指定できること。
- ・制作では、広く利用されている実績があり、機能拡張が容易なもの、保守運用も配慮されたものを利用すること。

②機能要件

- ・各種ファイル (Word Excel PDF 主要形式の画像データ等) の挿入が可能。
- ・画像はサムネイルが自動生成され、縦横比を維持したままでサイズが最適化されること。
- ・表組みのコンテンツが、テンプレートでの作成ができること。
- ・作成したページが自動的にサイトマップに反映され、パンくずリストが生成されること。
- ・パンくずリスト・サイトマップ、アクセスマップ、お問い合わせ、プライバシーポリシー、サイト内検索窓は全ページから遷移可能とすること。
- ・ページの公開、非公開、限定公開が設定でき、指定した日時に自動で公開することができること。
- ・作成するコンテンツをすべて静的なファイルとしてエクスポートが可能。

③運用要件

- ・HTML や CSS 等の専門的知識や技術を必要とせず、コンテンツの更新、編集、追加、削除等が容易におこなえる編集管理画面を構築すること。
- ・複数の編集作業員が登録でき、作業が行えること。作業員毎にアカウントとパスワードを設定し、アカウント管理ができること。
- ・作業員、作業日時、内容等の更新履歴を保持し、過去履歴への復元が可能なこと。
- ・編集管理画面は必要に応じ、関連するページを複数同時に更新することができ、作成、管理するコンテンツ、テンプレート数に上限がないこと。
- ・カスタマイズや保守・運用の経費が抑制できるシステムであること。

5) 各種デバイスへの対応

PC、スマートフォン及びタブレットにおいて最適な表示が得られるよう、レスポンシブなデザインとすること。なお、対象とする OS、ブラウザは下記の通りである。

OS : Windows、macOS、Android 及び iOS

ブラウザ : Microsoft Edge、Apple Safari、Mozilla Firefox 及び Google Chrome

※すべてにおいて最新版であること

また、マウスやタッチパネルによる操作性を考慮し、デバイスを問わず良好な体験を得られるよう設計すること。

6) ユーザビリティ・アクセシビリティへの対応

- ・ 閲覧者誰もが目的の情報に快適かつ容易に辿り着けるサイト構成、デザイン、経路構築、カテゴリ設定等に配慮すること。これらに対応するための関連情報の表示機能や検索機能について提案すること。
- ・ 閲覧者がサイト閲覧に供する各種端末機器に適応するレスポンシブ web デザインに配慮すること。
- ・ ウェブアクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3 の適合レベル AA への準拠を目標とする。

7) SNS への対応

- ・ Twitter、Facebook、YouTube をはじめとした各種 SNS を活用した情報サイトコンテンツの挿入に対応することができること。

8) 検索機能

- ・ SEO (サーチエンジン最適化) に配慮した施策提案を行うこと。

9) セキュリティ対策

- ・ 本調達に係るすべての制作物について、十分な情報セキュリティ対策を施すものとする。構築する CMS については、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 「安全なウェブサイトの作り方」の最新版を参照し、不正なアクセス、操作等により管理するコンテンツが改ざん、削除及び窃取等で損なわれないよう対策を講じること。
- ・ CMS、CMS が稼働する OS 及び各種ミドルウェアは、十分な運用実績があり、脆弱性や不具合に対する修正、アップデートが継続的に行われているものを採用すること。なお、構築時点における最新バージョンを導入すること。また、CMS、OS 及びミドルウェアのアップデートに有償のライセンスが必要な場合、業務期間中に利用可能なライセンスを本調達に含むこと。
- ・ CMS は、OS やミドルウェアの特定のバージョンに依存せず、継続的にバージョンアップ可能な製品を採用すること。
- ・ CMS との通信はすべて SSL により暗号化すること。なお、SSL 証明書の取得に

費用がかかる場合、業務期間中に必要な費用を本調達に含むこと。

- ・アクセス解析を提案する場合は、Google Analytics (GA4) および Google Search Console を使用すること。

10) データの提供方法

- ・移行対象コンテンツは、当館に既設の web サーバから、電子データにて提供する。移送方法については当館担当者と協議すること。
- ・新規作成するコンテンツについては、当館から電子データまたは紙媒体にて提供する。ただし、コンテンツ作成に伴い調整・編集等が必要な場合は請負者にて実施すること。
- ・コンテンツ作成作業着手後に変更された部分については、当館担当者が変更部分を連絡し、必要に応じ当該部分のデータを提供する。

11) web ページ等作成過程におけるメンテナンス作業

各工程における動作確認にて発生した不具合箇所は、その都度修正すること。

12) データの移行

- ・移行対象となる web ページは約 3,300 ページを想定している。掲載されている情報を当館担当者と協議の上整理し、今回構築する CMS で運用可能なよう移行すること。
- ・運用開始後、日常的に更新する部分については、当館担当者がコンテンツ更新を実施する。

13) 歴博サーバへのアップロード、web サイト公開及び動作テスト

- ・web サイトのレスポンス及びセキュリティ上の対策を考慮し、前項 4)に記載の通り、CMS 上でコンテンツの作成及び静的なファイルの生成を行い、当該ファイルを当館に既設のサーバに転送する運用を想定している。公開用の web サーバへの転送は、ファイル単位或いは web サイト全体を対象とすることを可能とし、CMS 側から任意のタイミング及び事前に設定したスケジュールで実行可能とすること。なお、転送に関し当館に既設のサーバ側に必要な設定があれば、当館担当者と協議し実施すること。
- ・web サイトの移行については、事前に移行計画書を提出し、当館担当者の承認を得ること。
- ・web サイトの移行に伴いサービス停止が発生する場合は、その期間が最小となるよう配慮すること。
- ・移行テスト用の web サーバは請負者にて用意すること。
- ・移行作業後の web ページにおいて、前項 5) で示す各ブラウザで適切に表示されるか確認すること。

14) 作業履歴等の工程管理

- ・本業に係る作業履歴等は適切な様式で記録し、管理すること。
- ・記録は請負者にて用意する web サーバで関係者のみに公開し、当館担当者が常

時閲覧可能な状態とすること。

5. web サーバの環境

当館に既設の web サーバの環境は下記の通り。

OS: Red Hat Enterprise Linux Server release 7

web サーバソフトウェア: Apache

インストール済みミドルウェア: PHP、Perl

なお、各バージョンは Red Hat がリリースする最新版を想定すること

6. 納品物

令和 4 年度制作対象

- ・ web サイトリニューアル詳細設計書

Web サイト構成詳細、各種ページデザイン、及び動作仕様詳細等を記載・記述した制作設計を文書体裁で提出すること。

令和 5 年度制作対象

- ・ CMS 一式
- ・ CMS 構築後の全体のバックアップデータ 一式
- ・ CMS で生成した静的なファイル 一式
- ・ ドキュメント 一式

<ドキュメント内訳>

- ① 4. 詳細仕様 3)に示す各ドキュメント
- ② CMS 詳細設計書(OS 及び CMS の設定・パラメータ等)
- ③ CMS 運用手順書(コンテンツ更新・CMS 及びシステム全体のバックアップ
・ リストアについて記載のあるもの)

印刷物 2 部と電子データを提出すること。

7. 納品期限

- ・ 令和 4 年度制作対象：令和 5 年 3 月 31 日（金）
- ・ 令和 5 年度制作対象：令和 6 年 3 月 29 日（金）

8. 検収及び代金請求方法

- ・ 令和 4 年度制作対象は令和 5 年 3 月 31 日（金）、令和 5 年度制作対象を令和 6 年 3 月 29 日（金）検収とし、それぞれ作業報告書と請求書を当館に提出する。

9. 運用にあたってのマニュアル作成、研修等の実施

- ・ 当館 web 管理者がシステムの管理、維持、サポートを行っていく上で必要な教育、研修の機会を設けると共に以下の対応を併せて行うものとする。

- ①web サイト管理、更新作業のマニュアル作成
- ②本稼働前の各種作業手順の説明会の実施
- ③本稼働後において、運用サポート期間をある程度設ける

10. 著作権等の取り扱い

- ・本業務遂行途中並びに成果物、電子データ等に含まれる第三者の著作権（著作権法第 21 条から 28 条に定めるすべての権利を含む）、その他の諸権利についての交渉・処理は請負者にて業務終了時前まで完遂しておくこととし、その経費は請負経費に含まれるものとする。本業務によって第三者からの権利侵害に関する係争が生じた場合においては、請負者の責にて解決するものとする。
- ・本業務により生成された成果物、電子データ等の納品物の著作権は、当館に帰属するものとし、譲渡できない権利については、請負者はこれを行わないものとする。また、請負者は成果物、電子データ等の作成により取得した著作権者人格権について、当館に対しこれを行わないものとする。

11. 保守

- ・瑕疵担保期間は検収後 1 年間とし、この間に判明した瑕疵は無償で対応すること。
- ・検収後半年間は、下記保守を本調達に含む。
 - ① 本業務の成果物に対する不具合対応
 - ② 本業務の成果物に対する当館からの問合せ対応
 - ③ CMS 及び CMS が稼働する OS・ミドルウェアのパッチ当て・アップデート・バージョンアップ及び動作検証作業
 - ④ CMS のセキュリティチェックと対応策の実施
 - ⑤ CMS の定期的なバックアップ取得
 - ⑥ CMS のログイン及び更新履歴の定期的なログ確認及び報告
 - ⑦ SSL 証明書の更新作業
 - ⑧ 万が一不正アクセス等のセキュリティインシデントが発生した場合の対応・調査及び必要な改修
- ・検収後、半年間を経過した後の保守については、提案（企画競争提案時）をふまえ、当館と協議し、体制を整える。
なお、保守の窓口は請負者において一元化すること。

12. その他

- 1) 本業務遂行に必要となるパソコン、ソフトウェア、周辺機器、通信環境等は請負者の負担にて設置すること。
- 2) 本業務遂行に関する作業並びに情報共有を目的として、請負者に必要な資料等（以下「資料等」という）を随時貸与または提供するものとする。貸与ま

たは提供された資料等は善良なる管理者の責任を持って保管・管理し、本業務遂行以外の目的で使用（複写・複製・編集等を含む）しないものとする。貸与または提供された資料等については、当館の指示に従い、必要とする業務工程終了次第、請負者の責任において速やかに返却または廃棄するものとする。

- 3) 当館教職員とのヒアリングや作業工程上に生じた協議等において必要に応じ当館に来館することができる体制を整えること。
- 4) 請負者は、本業務にて知り得た情報に対し請負終了後においても守秘義務を負うこととする。
- 5) その他、本業務に当たっての詳細及び疑義については、その都度当館担当者と協議の上、その指示に従うものとする。